

固定子鉄心測定アップグレードオプション

回転電気機械の電磁式欠陥試験用の CPC 100 アップグレード オプション

当社の**固定子鉄心測定アップグレード オプション**は、当社の CPC 100 多機能試験装置と共に使用されます。これらの機器は、水力発電機やタービン発電機、モーターなどの回転電気機械の固定子鉄心に対して、時間を節約し、信頼性の高い電磁式欠陥試験（浮遊磁束測定とも呼ばれます）を実行します。

固定子鉄心試験の重要性

電磁式欠陥試験は、運転中に回転機の過熱や損傷を引き起こす可能性のある固定子鉄心の層間欠陥を検出するために実行されます。

測定中、固定子鉄心は公称磁束のわずかなパーセンテージで励磁され、表面の漂遊磁束はチャトック コイルによって測定されます。漂遊磁束の変化は、2 つ以上の層間の潜在的な欠陥を示しています。ダウンタイムを回避するために、固定子鉄心の層間絶縁の健全性を経時的に比較および評価するために定期的な測定が推奨されます。

効率的で使いやすいソリューション

測定センサーはレールに取り付けられ、固定子鉄心を横切って自動的に移動して表面をスキャンします。1 つのロットが終了すると、レールは手動で次のロットに移動させます。このアプローチを使用すると、固定子鉄心全体が半自動でスキャンされます。これにより、効率的で再現性の高い測定が保証されます。

ユーザーフレンドリーな Primary Test Manager (PTM) ソフトウェアは、試験全体を通じてガイド付きワークフローをユーザーに提供し、結果をリアルタイムのグラフィック分析を可能にします。調整可能な制限付きのヒートマップにより、固定子のホットスポット全体を視覚的に確認できます。

同じコンパクトな装置が、CPC 100 と組み合わせて使用され、固定子鉄心への励磁と測定の両方に使用されます。

周波数選択測定

当社の周波数可変ソースは、15 Hz から 400 Hz までを選択し測定を可能にします。このアプローチにより、潜在的な妨害が排除され、より優れた信号対ノイズ比が達成されます。メイン周波数での測定も可能です。

システムの利点

- > 固定子鉄心の半自動スキャン
- > 1 つのソリューションでの測定と励磁
- > 15 Hz ~ 400 Hz の周波数可変注入
- > Primary Test Manager (PTM) ソフトウェアを使用した使いやすいワークフロー
- > 結果、グラフ、ヒート マップを含む自動レポート
- > 特定の測定要件を満たすために簡単に延長可能な励磁ケーブル
- > 多機能の CPC 100 は、追加の試験ニーズを満たします

固定子鉄心測定アップグレードオプション

注文番号 P0000056

ハードウェア

- 1 × RAA1 測定レール
- 1 × キャリブレーション付き SCU1 コントロール ユニット
- 1 × WMP1 巻線乗数

ケーブルおよび付属品

- 2 × チャトック コイル 長さの異なる
- 1 × マルチワイヤ励磁ケーブル
- 1 × ブースターケーブル
- 1 × 固定子鉄心測定ケーブルセット



OMICRON社は、革新的な試験および診断ソリューションで電力業界にサービスを提供する国際的な企業です。OMICRON社製品のアプリケーションにより、ユーザーはシステム上の一次および二次機器の状態を完全に自信を持って評価できます。コンサルティング、コミッショニング、試験、診断、トレーニングの分野で提供されるサービスにより、製品範囲は完全なものとなっております。

優れた品質の最先端技術を提供する同社の製品は高く評価され、160か国以上の顧客にご愛用頂いております。すべての大陸にあるサービスセンターは、幅広い知識と卓越したカスタマーサポートを提供します。上記サービスセンターおよび当社販売パートナーの強固なネットワークが、当社が電力業界のマーケットリーダーでありつづける理由です。

追加資料および世界各国にある当社オフィスの連絡先などの詳細については当社のウェブサイトをご覧ください。